



発行者
豊中市立第十三中学校
校長 成瀬 彰
PTA会長 本田 貴士



前期生徒会執行部との懇談会

7月22日(水)、校長室にて生徒会執行部とPTAの懇談会が行われました。
執行部の皆さんから、前期のスローガンや活動、要望について、お話を聞くことができました。

■スローガン「Break the Wall」

学年の壁を超えて協力したいという思いから決まったそうです。

今年度は、コロナの影響で約3か月の休校の期間があり、6月1日から学校が再開されましたが、生徒会執行部の活動もコロナ対策に気を配りながらも、「明るく、自然に挨拶ができる学校にする」「生徒同士がクラス・学年に関係なく協力できる学校にする」という目標を持って、前向きに活動しようという意気込みを感じました。

■生徒会の活動内容

- ・目安箱の活用
- ・あいさつ運動
- ・お昼休みに音楽を流してリラックスした
昼食時間の雰囲気づくり
- ・体育大会の運営



体育大会が盛り上がり生徒の皆さんの楽しい思い出になるように、運営は大変だと思いますが頑張ってください！



■生徒会からPTAへの要望

- ・運動場の暑さ対策、ウォータークーラーの故障及び新設、日陰の無いテニス部の遮蔽物対策、吹奏楽部の暑さ対策
- ・体育館への除湿器設置、教室のロッカーの狭さ対策、黒板を上下にしてほしい、机の狭さ、雨の日のしずく対策、あいさつ運動の旗の不足

PTAの対応としては、今年度は主にコロナ対策でマスクをつけての学校生活なので、下記のような熱中症対策を中心に行いました。

- ・体育館の壁を利用したミストシャワーの設置
- ・ウォータークーラーの1台修理及び1台新設
- ・テニス部の日陰対策としてタープを2基購入



吹奏楽部の熱中症対策としてエアコン導入を検討しましたが、導入費用が高額であることから一旦白紙としています。その他にも、熱中症対策として、エアコン未設置の部屋にエアコンを導入してもらえるよう校長先生から豊中市に要望書を出していただきました。

今後も改善できることを一つずつ取り組んで、環境改善のお手伝いがしていければと考えています。

コロナ禍の中、自分たちでできることを探し活動している生徒会の皆さんとの懇談会は、有意義な時間となりました。制約の多い中での学校生活ですが、試行錯誤しながら取り組み、乗り越えていくことで、必ず皆さんの将来の糧になると思います。

PTAとしても、生徒会をはじめ生徒の皆さんをしっかりサポートしていきたいと思いますので、これからも頑張ってください！

2年学級委員会



朝読用の本を20冊ほど購入し、透明なシートでカバーを貼る作業を行いました。さっそく皆さんに読んでもらいたいところですが、この状況ではウイルス付着の心配もあり管理も難しいため、まだクラスには置いていません。

司書の吉屋先生が本を選んでくださっています。短編集も多く、本があまり好きでないという人も読んでみる気になれそうです。

中でも「54字の物語」という短編集は、どれも54文字で話が完結するのですが「えっ、どういう意味？」と考えさせる謎解きのような面白さがあります。

他にも、映画化された「ちはやふる」やアニメ化されている「ざんねんないきもの事典」など、おもしろい本が揃っています。ぜひ図書室に行き、手に取ってみてください。



3年学級委員会



第一回目の標準服等リサイクル・回収は新型コロナウイルスによる休校のため例年より遅い日程となりましたが、在校生をはじめ卒業生のみなさまからもご協力頂き無事に開催することができました。

毎回、リサイクルは大変好評でリサイクル品が不足しております。回収につきましては常時受け付けていますのでお子さまを通じて担任の先生にお預けください。

